



第3章 高齢者保健福祉事業の 実績

- 1 高齢者保健福祉サービス
- 2 高齢者の健康づくりの推進
- 3 高齢者の社会参加と生きがいづくり
- 4 高齢者の生活環境の整備
- 5 地域で支えあう体制づくり

1 高齢者保健福祉サービス

(1) 施設サービス

① 養護老人ホーム

環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者が入所する施設であり、入所基準に沿って必要な方への措置を実施しています。

養護老人ホームへの措置入所者の実績は、横ばいで推移しています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 措置者数 | 計画(人) | 12 | 91.7% | 12 | 66.7% | 12 | 83.3% |
| | 実績(人) | 11 | | 8 | | 10 | |

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 施設整備 | 計画(箇所) | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | 実績(箇所) | 1 | | 1 | | 1 | |
| | 定員数(人) | 50 | | 50 | | 50 | |
| | 実績(人) | 50 | | 50 | | 50 | |

② 高齢者福祉センター

60歳以上の方を対象にコミュニケーションを深め、健康で楽しい生活を送れるように、入浴や休養、娯楽などの場を提供し生きがいを支援しています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 施設数 | 計画(箇所) | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | 実績(箇所) | 1 | | 1 | | 1 | |

(2) 在宅サービス

① 除雪サービス

65歳以上のひとり暮らしや夫婦世帯等で町民税所得割・非課税世帯で、自力で除雪できない世帯を対象に玄関先から公道まで幅1メートル程度の除雪を行っています。利用世帯数は、ほぼ横ばいで推移しています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|--------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 除雪サービス | 計画数(世帯) | 124 | 104.8% | 126 | 107.1% | 128 | 105.5% |
| | 利用者(世帯) | 130 | | 135 | | 135 | |

② 配食サービス

65歳以上のひとり暮らし等で、自力で食事を調理することが困難な方を対象に安否の確認とお弁当の宅配をしています。配食サービスの初回利用者については、適切な利用について生活状況等を調査し決定しています。

社会福祉協議会に委託し、ボランティアと連携しながら食事を届けるだけではなく安否確認も含めて実施しています。また、外出機会の少ないひとり暮らしの高齢者を対象に、ボランティアと一緒にふれあい会食会を開催しています。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 配食サービス | 計画数(人) | 36 | 102.8% | 37 | 94.6% | 38 | 92.1% |
| | 利用者(人) | 37 | | 35 | | 35 | |
| | 計画数(食) | 4,788 | 97.2% | 4,921 | 113.9% | 5,054 | 89.7% |
| | 延食数(食) | 4,654 | | 5,603 | | 4,532 | |

③ 緊急通報サービス

65歳以上のひとり暮らし世帯等で町民税非課税世帯の方を対象に、自宅の電話機に緊急通報装置を設置することで、急病や事故などで助けを呼びたいときに、24時間対応により日常生活の安心の確保を図るサービスです。利用世帯数は若干減少傾向にあります。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|----------|---------|------|--------|------|-------|------|-------|
| 緊急通報サービス | 計画数(世帯) | 55 | 101.8% | 57 | 93.0% | 59 | 88.1% |
| | 利用者(世帯) | 56 | | 53 | | 52 | |

④ 外出支援サービス

介護保険サービス対象者や障がい者自立支援サービスの対象者で、移送サービスの必要な方に対して実施しています。

福祉有償運送の必要性並びに実施に伴う安全性及び利用者の利便性の確保に関する事など、移送支援が必要な方に円滑にサービスが行えるよう当別町福祉有償運送運営協議会を開催し協議しています。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 要介護認定者登録者数 | 計画(人) | 30 | 150.0% | 35 | 157.1% | 40 | 87.5% |
| | 実績(人) | 45 | | 55 | | 35 | |
| 身体障がい者登録者数 | 計画(人) | 65 | 89.2% | 70 | 81.4% | 75 | 70.7% |
| | 実績(人) | 58 | | 57 | | 53 | |
| 運送回数 | 計画(回) | 2,440 | 69.4% | 2,803 | 45.6% | 3,166 | 31.5% |
| | 実績(回) | 1,693 | | 1,277 | | 998 | |

2 高齢者の健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

保健推進員や食生活改善推進員等の活動の支援を継続し、こころの健康づくりやがん予防、バランスが取れた食生活などについて、健康福祉出前講座や料理講習会を実施しています。また、うつ病についての理解とその対応について、当別町健康づくりセミナーを、JA北いしかり女性部と、民生児童委員や保健推進員・福祉委員など地域の中で相談を受ける機会のある方々に周知し、実施しました。

(2) 健康教育、健康相談機会の提供

高齢者健康講座を開催し、介護予防や高齢期のうつ病についてなど、健康づくりのための情報提供を行いました。また、高齢者健康講座の際に希望に応じて、個別に血圧測定や医療状況などを確認しながら、健康相談を行っています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 健康教育 (高齢者健康講座) | 計画(回) | 18 | 77.7% | 18 | 116.7% | 18 | 105.6% |
| | 実績(回) | 14 | | 21 | | 19 | |
| | 計画(人) | 360 | 90.0% | 360 | 116.1% | 360 | 145.8% |
| | 実績(人) | 324 | | 418 | | 525 | |
| 健康相談 (高齢者健康相談) | 計画(回) | 18 | 38.9% | 18 | 66.7% | 18 | 55.6% |
| | 実績(回) | 7 | | 12 | | 10 | |
| | 計画(人) | 360 | 31.1% | 360 | 51.1% | 360 | 48.3% |
| | 実績(人) | 112 | | 184 | | 174 | |

(3) がん検診、健康診査の推進

がんの早期発見・治療のために、各種がん検診や基本健康診査や特定健診、後期高齢者健診について関係機関と連携しながら、広報等での周知に加え高齢者健康講座や相談の場面を活用し勧奨活動を行ったり、元気アップ高齢者把握事業において介護予防基本チェックリストの発送時にちらしを入れる等様々な形で周知や受診勧奨活動を行っています。

(4) 感染症予防の推進

食中毒が流行する季節に合わせて、看板の設置や広報、ゆとろ「健康福祉情報コーナー」等で予防のための情報の発信をしました。インフルエンザの予防、ワクチン接種に関する情報をタイムリーに発信するように努めています。継続して感染症予防のための情報発信を実施しています。

3 高齢者の社会参加と生きがいづくり

(1) ボランティア活動の推進

当別町共生型地域福祉ターミナルを拠点としNPO法人と連携したボランティアに関する総合的な窓口として、高齢者から若年者のボランティア登録の窓口が広がっています。

高齢者ボランティアの登録者数は増加していますが、登録者の大半が70代以上の方々であり、現在の活動を維持・発展していくためには、若い世代の方々（特に60代、団塊世代の男性、主婦）の担い手を増やすことが必要な状況です。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|---------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| ボランティア登録者数 | 計画(人) | 1,100 | 97.2% | 1,200 | 92.7% | 1,300 | 121.8% |
| | 実績(人) | 1,069 | | 1,112 | | 1,584 | |
| 高齢者ボランティア登録者数 | 計画(人) | 210 | 103.8% | 220 | 110.5% | 230 | 125.2% |
| | 実績(人) | 218 | | 243 | | 288 | |

(2) シルバー人材センター活動の充実

会報「とうべつシルバー」を年2回発行、センターで実施する事業のPRと会員募集ちらしを年2回配布、当別町広報誌「とうべつ」に会員募集の広告を掲載し、毎年10月にシルバークフェアを開催するなどPR活動を実施しています。

シルバー人材センターの活動を町民に周知し、会員の加入拡大、組織体制の充実を図り、高齢者の就業機会の拡大を図っています。

また、新たに加入する方もいますが、高齢による退会者が増加していることから会員数があまり伸びない状況となっています。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|------------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 人材センター登録者数 | 計画(人) | 224 | 97.3% | 230 | 92.6% | 230 | 86.5% |
| | 実績(人) | 218 | | 213 | | 199 | |

(3) 高齢者クラブ活動の充実

平成25年度末では、30クラブが活動しており地域の支え合い活動の展開、社会参加の増進を目標に活動をしています。

悪徳商法等に関する情報提供やクラブ内での連絡体制の構築や警察機関、防犯協会との連携・協力により、被害防止・早期発見に努めています。

社会奉仕活動として地域の環境整備や交通安全運動などの自主的な活動を展開しています。

年々会員数が減少傾向にあることから、今後は、会員数の増加（特に若手会員の入会数）を促していく必要があります。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|------------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 高齢者クラブ 連合会会員数 | 計画(人) | 1,400 | 101.2% | 1,400 | 100.5% | 1,400 | 94.9% |
| | 実績(人) | 1,417 | | 1,407 | | 1,328 | |

(4) 交流の機会、生きがいのづくりの支援

① 共生型コミュニティー農園

当別町共生型コミュニティー農園ペこぺこのはたけでは、団塊世代の方々を中心とした「ぺこちゃんサポートクラブ」主催のイベントや、高齢者サロンの開催、認知症の高齢者による農業体験や畑作業など、介護予防にもつながる事業が展開されています。

② 高齢者大学「ことぶき大学」の開催

高齢者が生きがいをもって暮らせるよう、学習機会の提供と社会参加を進めるため、各種講座・講習の機会を提供しています。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|------|-------|------|--------|------|--------|------|--------|
| 登録者数 | 計画(人) | 50 | 94.0% | 50 | 94.0% | 50 | 102.0% |
| | 実績(人) | 47 | | 47 | | 51 | |
| 開催回数 | 計画(回) | 19 | 100.0% | 19 | 100.0% | 20 | 100.0% |
| | 実績(回) | 19 | | 19 | | 20 | |
| 参加者数 | 計画(人) | 450 | 103.3 | 470 | 96.6% | 470 | 111.7% |
| | 実績(人) | 465 | | 454 | | 525 | |

③ 当別町健康福祉出前講座の実施

社会福祉協議会、NPO法人、町の職員などが講師となり、町内会、女性部、高齢者クラブなど5人以上のグループであれば誰でも身近な地域の会館などで出前講座を受けることができます。

各関係機関と連携を図りながら、テーマ・内容の充実や出前講座の周知活動を積極的に行っています。また、暮らしに役立つ福祉や健康づくりに関する情報を四半期ごとに「各講座・イベントのお知らせ」として、ちらしやポスターなどで周知を行いました。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 健康福祉出前講座(全体) | 計画(回) | 160 | 93.1% | 160 | 90.6% | 160 | 86.3% |
| | 実績(回) | 149 | | 145 | | 138 | |
| | 計画(人) | 4,500 | 90.9% | 4,500 | 83.6% | 4,500 | 89.1% |
| | 実績(人) | 4,093 | | 3,764 | | 4,008 | |
| 健康福祉出前講座(高齢者実施分) | 計画(回) | 50 | 96.0% | 50 | 120.0% | 50 | 88.0% |
| | 実績(回) | 48 | | 60 | | 44 | |
| | 計画(人) | 1,200 | 96.4% | 1,200 | 121.4% | 1,200 | 93.2% |
| | 実績(人) | 1,157 | | 1,457 | | 1,118 | |

④ ふれあいスポーツ大会の開催

スポーツを通じ身体障がい者の社会参加を促進し又高齢者の健康保持と生きがいを高めることを目的に、実行委員会を組織し協議内容や役割分担などについて協議しながら取り進めました。多くの方々が参加したいと思えるよう競技内容やルールを検討し実施しています。

| 区 分 | | 23年度 | 進捗率 | 24年度 | 進捗率 | 25年度 | 進捗率 |
|------|-------|------|-----|------|-------|------|-------|
| 参加者数 | 計画(人) | 500 | - | 500 | 83.8% | 500 | 74.4% |
| | 実績(人) | - | | 419 | | 372 | |

※平成23年度は台風の影響により中止。

4 高齢者の生活環境の整備

(1) 住まいと住宅相談体制の充実

地域包括支援センターでは、住み慣れた地域で継続して生活を送れるような介護保険サービスや配食サービス等の公的サービス及びインフォーマルサービス等の日常生活相談を行っています。相談内容は介護や福祉、医療等高齢者の生活全般に関することなど様々であり、相談件数は年々増加しています。

また、「当別町住宅マスタープラン」及び「当別町町営住宅長寿命化計画」を策定し、町営住宅等の住宅環境整備について検討しています。

地域包括支援センター相談件数

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|--------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 日常生活 相談件数 | 計画(件) | 130 | 115.4% | 130 | 190.8% | 130 | 267.7% |
| | 実績(件) | 150 | | 248 | | 348 | |
| 環境整備 相談件数 | 計画(件) | 30 | 170.0% | 30 | 166.7% | 30 | 246.7% |
| | 実績(件) | 51 | | 50 | | 74 | |

(2) 公共公益施設等のバリアフリー化

新たな公共公益施設の建設時にはスロープやトイレの改良等バリアフリー化を考慮した整備を行っています。また、道路改築事業では、交通バリアフリー法に基づく縦断勾配、乗入れ勾配など、利用者に配慮した造成を行っています。

(3) 地域公共交通の充実

「当別ふれあいバス」では、高齢者が利用しやすいバスとして低床化や車いす対応スロープ、音声映像案内システムを整備しています。

第5期計画期間では、ノーマイカーウィーク（期間中、ふれあいバスの運賃を無料とするキャンペーン）や地域住民を対象とした意見交換会を行い、意識啓発と利用促進を図りました。

5 地域で支えあう体制づくり

(1) 社会福祉協議会の役割の推進

ひとり暮らし高齢者世帯の見守り体制を充実させ、「孤立死」や「閉じこもり」の防止を図り、地域ネットワークづくりを展開するため、社協が町内会と一緒に活動し密接な連携をとりながら地域のニーズを把握し、様々な福祉サービスを推進しています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|----------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 愛の訪問サービス人数 | 計画(人) | 48 | 118.8% | 50 | 114.0% | 52 | 100.0% |
| | 実績(人) | 57 | | 57 | | 52 | |
| いきいきサロン参加団体数 | 計画(件) | 12 | 116.7% | 15 | 113.3% | 18 | 77.8% |
| | 実績(件) | 14 | | 17 | | 14 | |
| 心配ごと相談件数 | 計画(件) | 10 | 70.0% | 10 | 80.0% | 10 | 40.0% |
| | 実績(件) | 7 | | 8 | | 4 | |
| 日常生活自立支援事業利用件数 | 計画(件) | 2 | 200.0% | 3 | 133.3% | 4 | 100.0% |
| | 実績(件) | 4 | | 4 | | 4 | |

(2) 民生委員・児童委員活動の推進

民生委員・児童委員は、地域にあって住民の生活状態や福祉ニーズを直接把握できる立場にあり、相談を受け、助言を行うとともに、住民・行政・関係機関のパイプ役として重要な役割を持っています。毎月行われる民生児童委員協議会定例会において、情報交換しながら継続して支援活動に取り組んでいます。

また、地域ケア会議等に積極的に参加し、高齢者が地域で安心して暮らせるように情報の収集と連携に努めています。

(3) 高齢者虐待の防止

高齢者虐待相談の窓口として、施設における虐待も含め個別の事例への相談支援を実施しています。関係機関と連携しながら、必要時の訪問や処遇検討会議を開催し支援を行っています。

地域ケア会議定例会において、虐待防止ネットワーク会議を高齢者虐待・権利擁護部会及び障がい者自立支援協議会と合同で開催し、地域における権利擁護支援の実際や制度内容等について理解を深めるとともに、関係機関のネットワーク強化を図りました。なお、虐待防止ネットワーク会議は、地域ケア会議内の部会再編により、平成25年度より「高齢者虐待・権利擁護専門部会」に名称変更しています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|----------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 高齢者虐待・権利擁護専門部会 | 計画(回) | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | 実績(回) | 1 | | 1 | | 1 | |

(4) SOSネットワークの構築

高齢者の安全を守り地域で支えるため当別町SOSネットワーク事業の円滑な運営と、各関係機関との連携強化、認知症に対する理解を目的とし、年1回「SOSネットワーク事業推進会議」を開催しています。

また、SOSネットワークの仕組み、利用方法及び相談先などを記載したちらしを全戸配布しました。

日常生活において見守りが必要なSOSネットワーク事業の登録高齢者に対して、ご家族等から希望がある場合、町内関係機関に情報を提供し日常的な見守りを行っています。

| 区 分 | | 23 年度 | 進捗率 | 24 年度 | 進捗率 | 25 年度 | 進捗率 |
|-----------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| SOSネットワーク事業推進会議 | 計画(回) | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | 実績(回) | 1 | | 1 | | 1 | |

(5) 災害時要援護者への支援

災害時に自力での避難等が困難な、高齢者や障がい者などの支援を必要とする方の台帳を整備し、社会福祉協議会や当別消防署、町内会などの関係機関へ情報提供を行います。従前、民生児童委員協議会で台帳の整備を行っていましたが、町では、さらに要援護者に関する情報を拡充し、災害時だけではなく、日頃の見守りにも利用できる「当別町福祉支援台帳」を平成25年9月より新たに整備しており、関係機関等への提供を進めています。

今後は、地域の実情を踏まえ、要援護者対策の基本的な方針、要援護者の対象範囲、要援護者情報の収集と共有の方法など、災害時要援護者対策の取組方針を明らかにする「災害時要援護者避難支援計画」の策定に向けた取組みを進める等、要援護者への支援体制の拡充を図ります。